

地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同
地球環境変化の人的側面（HD）分科会（第25期・第2回）
議事要旨

1. 日時：令和3年3月18日（木）10：00～12：00
2. 会場：Zoom会議にて開催
3. 出席者：近藤昭彦（委員長）、井上 真、関 礼子、竹中千里、谷口真人、春山成子、氷見山幸夫、山下 潤、渡辺浩平、阿部健一
4. 配布資料
資料1 第25期第1回分科会議事要旨（案）
資料2 3月24日開催シンポジウムポスター
5. 議事
 - (0) 第1回分科会議事要旨（案）について（資料1）
 - ・議事要旨が承認された。
 - (1) HDに関する情報交換
 - ・当日配布資料にもとづき、井上・関両委員による下記の報告後、委員間で種々の情報が交換された。
 - 井上真委員：ローカルとグローバルをつなぐ超学際政策研究
 - 関礼子委員：グローバル汚染としてのアスベストと建設工事従事者の被害補償基金構想
 - (2) 3月24日開催公開シンポジウムについて（資料2）
 - ・近藤委員長から、現在の申し込み状況（47名）が報告された。
 - ・当日の進行の詳細（講演時間、質問方法、司会者）について確認した。
 - ・その他（事前の接続テスト、当日の参加者のカメラON/OFF、等）については、近藤委員長に一任することとした。
 - ・本シンポジウムの情報を、地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会に流すこととした。
 - (3) KLaSiCa 小委員会の設置について（資料は画面共有で提示）
 - ・阿部委員より、資料に基づき説明があり、小委員会の構成メンバー案が示された。
 - ・KLaSiCa の趣旨に沿ったメンバー構成として、芸術系のメンバーを加えることが重要であるという説明があり、現在の候補者を含め、適任者の選出、および今後の小委員会設置の事務的な手続きについて近藤委員長と阿部委員に一任された。
 - (4) その他
 - ・次回分科会については、シンポジウム終了後に企画し、そこで本分科会の活動を議論することとした。本分科会では、従来の「提言」に向けた議論から「発想の転換」が必要であり、それをめざして議論を続けていきたいとの見解が、近藤委員長から示された。
 - ・今後の議論に向けて、氷見山委員より“Solidarity”がひとつのキーワードとして紹介された。さらに、SDGs・フューチャーアースとの関係、国家とは何か、といったテーマが今後の話題として挙げられた。